



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場会社名 フタバ産業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 佐々木 康夫

TEL 0564-31-2211

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	189,767	17.1	6,401	—	3,776	—	1,102	808.3
22年3月期第2四半期	162,096	△27.0	△2,471	—	△4,370	—	121	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	15.76	—
22年3月期第2四半期	1.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	230,686	49,339	15.7	518.80
22年3月期	257,205	50,459	14.8	544.42

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 36,293百万円 22年3月期 38,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

(注) 期末の配当予想額は未定としております。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	376,000	△0.1	10,500	229.8	7,000	—	2,300	—	32.87

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）
- |                     |          |             |          |             |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期2Q | 70,049,627株 | 22年3月期   | 70,049,627株 |
| ② 期末自己株式数           | 23年3月期2Q | 92,798株     | 22年3月期   | 92,336株     |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 23年3月期2Q | 69,957,061株 | 22年3月期2Q | 69,958,727株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。業績に関する事項は、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

「参考」平成23年3月期の個別業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	254,000 △4.8	3,000 —	1,600 —	100 —	1.42

（注）当四半期における個別業績予想数値の修正有無 : 有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
4. 「参考」四半期個別財務諸表.....	11
(1) (要約) 四半期貸借対照表.....	11
(2) (要約) 四半期損益計算書.....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国、インドを始めとした新興国の景気拡大もあり、緩やかな回復基調でありました。一方、わが国経済は回復の兆しはみられるものの円高に推移するなど依然として厳しい状況が続いております。自動車業界におきましては、アジアを中心に市場が回復し、国内ではエコカー減税や補助金制度などにより生産台数の増加につながりました。

このような状況にあつて当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,897億円と前年同四半期比17.1%の増収となりました。利益につきましては、営業利益は64億円(前年同四半期は24億円の営業損失)、経常利益は37億円(前年同四半期は43億円の経常損失)、四半期純利益は11億円(前年同四半期は1億円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の状況については、売上高は日本1,256億円、北米246億円、欧州135億円、アジア310億円となっております。セグメント利益は日本12億円、北米10億円、欧州4億円、アジア35億円となっております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、売上債権および有形固定資産の減少や投資有価証券の時価総額の下落などにより、前連結会計年度末に比べて265億円減少し、2,306億円となりました。負債については、仕入債務の減少や短期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べて253億円減少し、1,813億円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金の減少などにより11億円減少し、493億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては依然不透明ではありますが、当第2四半期の実績を踏まえ、当第2四半期連結会計期間において通期の業績予想を連結・個別とも修正しております。

詳細につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## (簡便な会計処理)

## 1 固定資産の減価償却の算定方法

減価償却の按分の方法として定率法を採用しているものについては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

## 2 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定的方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測などを利用する方法によっております。

## 3 退職給付引当金

退職給付費用、数理計算上の差異の費用処理額、過去勤務債務の費用処理額については、それぞれ当連結会計年度に係る年間の費用処理額を期間按分して算定しております。

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

## 税金費用の計算

一部の連結子会社における税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法により計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## (会計処理基準に関する事項の変更)

## 1 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が189百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は189百万円であります。

## 2 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しています。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響はありません。

## 3 「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)」、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

## (表示方法の変更)

## 四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,384	20,146
受取手形及び売掛金	45,120	52,900
製品	3,611	3,994
仕掛品	8,268	7,704
原材料及び貯蔵品	3,081	3,114
繰延税金資産	12	73
その他	7,270	9,147
貸倒引当金	△80	△154
流動資産合計	83,668	96,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,574	31,957
機械装置及び運搬具(純額)	60,286	69,368
工具、器具及び備品(純額)	9,718	12,455
土地	14,695	14,847
リース資産(純額)	1,127	414
建設仮勘定	9,866	6,586
有形固定資産合計	125,268	135,630
無形固定資産		
	482	548
投資その他の資産		
投資有価証券	16,518	19,370
繰延税金資産	887	864
その他	6,567	6,410
貸倒引当金	△2,706	△2,545
投資その他の資産合計	21,267	24,100
固定資産合計	147,017	160,279
資産合計	230,686	257,205

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,152	55,451
短期借入金	39,531	62,938
1年内返済予定の長期借入金	18,493	13,984
未払法人税等	544	995
役員賞与引当金	48	—
リコール損失引当金	2,120	2,120
その他	14,955	15,935
流動負債合計	122,844	151,425
固定負債		
長期借入金	40,497	37,530
繰延税金負債	7,499	8,302
退職給付引当金	8,507	8,390
役員退職慰労引当金	61	62
資産除去債務	189	—
その他	1,747	1,032
固定負債合計	58,502	55,319
負債合計	181,347	206,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	12,382	13,321
利益剰余金	10,851	8,810
自己株式	△146	△146
株主資本合計	34,907	33,805
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,992	6,230
為替換算調整勘定	△3,606	△1,949
評価・換算差額等合計	1,385	4,280
少数株主持分	13,045	12,373
純資産合計	49,339	50,459
負債純資産合計	230,686	257,205



(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	162,096	189,767
売上原価	156,040	174,859
売上総利益	6,055	14,907
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	3,142	3,420
給料手当及び賞与	1,793	2,187
退職給付費用	91	91
役員賞与引当金繰入額	—	48
役員退職慰労引当金繰入額	15	16
法定福利及び厚生費	287	313
租税公課	268	167
減価償却費	225	253
研究開発費	116	113
その他	2,587	1,892
販売費及び一般管理費合計	8,527	8,505
営業利益又は営業損失(△)	△2,471	6,401
営業外収益		
受取利息	47	66
受取配当金	94	105
作業くず売却益	329	265
デリバティブ評価益	282	—
持分法による投資利益	3	61
その他	456	245
営業外収益合計	1,214	744
営業外費用		
支払利息	1,440	1,298
デリバティブ評価損	—	51
為替差損	1,110	1,505
その他	563	514
営業外費用合計	3,114	3,369
経常利益又は経常損失(△)	△4,370	3,776

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	843	—
役員退職慰労引当金戻入額	85	—
その他	8	—
特別利益合計	937	—
特別損失		
減損損失	676	—
投資有価証券評価損	134	86
固定資産廃棄損	496	—
固定資産除却損	—	135
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	189
その他	237	126
特別損失合計	1,545	537
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△4,979	3,238
法人税等	△5,850	742
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,496
少数株主利益	750	1,393
四半期純利益	121	1,102

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	自動車等車両 部品事業 (百万円)	情報環境機器 部品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	157,684	4,412	162,096	—	162,096
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	157,684	4,412	162,096	—	162,096
営業利益又は営業損失(△)	△2,511	39	△2,471	—	△2,471

(注) 1 事業の区分は、製品の使用目的及び販売市場の類似性により区分しております。

2 各区分の主な製品

- (1)自動車等車両部品事業 …… マフラー、エキゾーストマニホールド、サスペンションメンバー等  
(2)情報環境機器部品事業 …… 複写機、レーザープリンター等の精密部品

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	112,947	17,610	12,579	18,958	162,096	—	162,096
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,981	0	1	102	7,086	(7,086)	—
計	119,929	17,610	12,581	19,061	169,182	(7,086)	162,096
営業利益又は営業損失(△)	△3,648	△748	△560	2,461	△2,496	24	△2,471

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1)北米 …… アメリカ、カナダ  
(2)欧州 …… イギリス、チェコ  
(3)アジア …… 中国、インド

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	北米	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	18,305	12,651	20,016	396	51,370
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	—	162,096
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	11.3	7.8	12.4	0.2	31.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1)北米 …… アメリカ、カナダ  
(2)欧州 …… イギリス、フランス、チェコ、ハンガリー  
(3)アジア …… 中国、インド  
(4)その他地域 …… オーストラリア等

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に自動車等車両部品を生産・販売しており、国内においては当社及び子会社が、海外においては北米、欧州及びアジアにおける各現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「欧州」、「アジア」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは主として、自動車等車両部品を生産・販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	120,717	24,690	13,543	30,815	189,767	—	189,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,969	—	1	219	5,190	△5,190	—
計	125,687	24,690	13,544	31,035	194,957	△5,190	189,767
セグメント利益	1,270	1,023	429	3,562	6,286	115	6,401

(注)1 セグメント利益の調整額115百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年5月27日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分について決議いたしました。

- 1 資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の目的  
資本準備金の額及び利益準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。
- 2 資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領  
会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に、利益準備金の全額を減少し繰越利益剰余金に振替えるもの。
  - (1) 減少する準備金の項目及びその額
 

資本準備金	1,083百万円
利益準備金	2,920百万円
  - (2) 増加する剰余金の項目及びその額
 

その他資本剰余金	1,083百万円
繰越利益剰余金	2,920百万円
- 3 剰余金の処分の要領  
会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。
  - (1) 減少する剰余金の項目及びその額
 

その他資本剰余金	938百万円
----------	--------
  - (2) 増加する剰余金の項目及びその額
 

繰越利益剰余金	938百万円
---------	--------
- 4 資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の効力の発生日
  - (1) 取締役会決議日 平成22年5月27日
  - (2) 効力発生日 平成22年5月27日

## 4. 「参考」四半期個別財務諸表

## (1) (要約)四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産	53,487	64,434
固定資産	99,790	105,951
資産合計	153,277	170,385
負債の部		
流動負債	81,783	100,656
固定負債	43,196	39,442
負債合計	124,979	140,098
純資産の部		
株主資本	23,295	24,056
評価・換算差額等	5,002	6,229
純資産合計	28,298	30,286
負債純資産合計	153,277	170,385

## (2) (要約)四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	118,922	124,495
売上原価	116,238	117,146
売上総利益	2,683	7,349
販売費及び一般管理費	5,931	5,441
営業利益又は営業損失(△)	△3,247	1,908
営業外収益	1,121	922
営業外費用	2,253	2,194
経常利益又は経常損失(△)	△4,380	636
特別利益	928	—
特別損失	1,356	1,358
税引前四半期純損失(△)	△4,807	△721
法人税等	△6,161	39
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,354	△760

平成23年3月期 第2四半期 決算参考資料

【連結】

1. 当第2四半期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第2四半期 (22.4~22.9)		前年同四半期 (21.4~21.9)		増減	増減率	通期予想 (22.4~23.3)		対前期	
	(%)		(%)				(%)		増減	増減率
売上高	(100.0%)	189,767	(100.0%)	162,096	27,671	17.1%	(100.0%)	376,000	△ 323	△0.1%
営業利益	(3.4%)	6,401	(△1.5%)	△ 2,471	8,873	-	(2.8%)	10,500	7,316	229.8%
経常利益	(2.0%)	3,776	(△2.7%)	△ 4,370	8,147	-	(1.9%)	7,000	7,399	-
四半期純利益	(0.6%)	1,102	(0.1%)	121	980	808.3%	(0.6%)	2,300	2,865	-
一株当り純利益		15円76銭		1円73銭				32円87銭		
設備投資		5,347		20,889	△ 15,542	△74.4%		23,000	△ 7,106	△23.6%
減価償却費		12,984		13,780	△ 796	△5.8%		26,500	△ 3,914	△12.9%

(注) ( )内は売上高比率を表示

2. 営業利益増減要因(対前年同期比)

(単位: 億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
売上増による利益の増	44	為替の変動による影響	2
原価改善、製品構成の変動による影響	26	労務費の増	1
作業屑売却高の増	10		
減価償却費の減	8		
経費の減 他	3		
計	91	計	3
差引 営業利益の増	(△24 → 64)		88

3. セグメント別業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第2四半期 (22.4~22.9)		前年同四半期 (21.4~21.9)		増減	増減率	
		構成比		構成比			
売上高	日本	125,687	66.2%	119,929	74.0%	5,758	4.8%
	北米	24,690	13.0%	17,610	10.8%	7,079	40.2%
	欧州	13,544	7.1%	12,581	7.8%	962	7.7%
	アジア	31,035	16.4%	19,061	11.8%	11,974	62.8%
	消去	△ 5,190	△2.7%	△ 7,086	△4.4%	1,895	-
	計	189,767	100.0%	162,096	100.0%	27,671	17.1%
営業利益	日本	1,270	19.8%	△ 3,648		4,919	-
	北米	1,023	16.0%	△ 748		1,772	-
	欧州	429	6.7%	△ 560		990	-
	アジア	3,562	55.7%	2,461		1,101	44.7%
	消去	115	1.8%	24		90	365.5%
	計	6,401	100.0%	△ 2,471		8,873	-

【個別】

4. 当第2四半期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第2四半期 (22.4~22.9)		前年同四半期 (21.4~21.9)		増減	増減率	通期予想 (22.4~23.3)		対前期	
	(%)		(%)				(%)		増減	増減率
売上高	(100.0%)	124,495	(100.0%)	118,922	5,573	4.7%	(100.0%)	254,000	△ 12,761	△4.8%
営業利益	(1.5%)	1,908	(△2.7%)	△ 3,247	5,155	-	(1.2%)	3,000	6,227	-
経常利益	(0.5%)	636	(△3.7%)	△ 4,380	5,016	-	(0.6%)	1,600	6,142	-
四半期純利益	(△0.6%)	△ 760	(1.1%)	1,354	△ 2,115	-	(0.0%)	100	2,266	-
設備投資		3,406		9,006	△ 5,600	△62.2%		12,100	△ 1,107	△8.4%
減価償却費		7,668		8,129	△ 460	△5.7%		15,300	△ 3,705	△19.5%

(注) ( )内は売上高比率を表示